

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース											
美術3作画											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	築地史郎			実務 経験	有	職種	画家				
授業概要											
演出的な表現力や身体の動作による外形変化などを学び、作品制作における描画力を高める。											
到達目標											
絵を描くときには必ずeyelevelとvanishingpointが意識できることが目標である。立体を表現するために大きな面の処理ができるようになる。モチーフの形だけでなくネガの形や単純な形を発見することができる、仕上げに向かうことができるようになる。遠近法を使って楕円が描け応用できる。面を意識できるようになり、実物を見なくても基本的な影をつけることができる。											
授業方法											
モデルやモチーフを用い対象物のより深い観察の方法を学び、鉛筆や木炭を用いた実習では立体物の平面への落とし込み方を学びます。											
成績評価方法											
課題提出と、授業参加への積極性と自発性を重視する。											
履修上の注意											
クロッキー帳とスケッチブックを指示により用意すること。室外での写生は天候にも左右されるためシラバスの順不同がある。											
教科書教材											
必要に応じて説明プリント（参考資料）を各課題時に配布します。											
回数	授業計画										
第1回	パースと人物机等										
第2回	パースと人物車やバイク										
第3回	自然物と人物木のスケッチ										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース

美術3作画

第4回	自然物と人物木のディテール
第5回	登り坂下り坂と人物
第6回	3時間で描く静物デッサン
第7回	彫刻を描くその(1)
第8回	彫刻を描くその(2)
第9回	クロッキーツアー
第10回	ヌードクロッキー
第11回	ヌードクロッキー
第12回	ヌードクロッキー
第13回	人物デッサンとクロッキー総合
第14回	人物の骨格と筋肉 (ポートフォリオ)
第15回	授業まとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース											
美術3 背景仕上撮影											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	寒川歩			実務 経験	有	職種	演出・作画監督				
授業概要											
演画的な表現力や身体の動作による外形変化などを学び、作品制作における描画力を高める。											
到達目標											
絵を描くときには必ずeyelevelとvanishingpointが意識できることが目標である。立体を表現するために大きな面の処理ができるようになる。モチーフの形だけでなくネガの形や単純な形を発見することができる、仕上げに向かうことができるようになる。遠近法を使って楕円が描け応用できる。面を意識できるようになり、実物を見なくても基本的な影をつけることができる。											
授業方法											
オープンな雰囲気の中で、各課題に、全体で協力しあったり、少人数でアイデアを出しあったりして、絵画の実践的学習を進め、各自の目標とする将来の実務の基礎となる授業を展開する。											
成績評価方法											
60%授業時間内に行われる課題制作、内容について評価する 40%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
制作の打合せ等で声を発する場合は周囲の学生への配慮を忘れないこと。長時間の打合せは教員に申請・許可を得ること。											
教科書教材											
資料を配布し、参考書・参考資料等は、授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	現場で働くことについて										
第2回	作画技術、知識の応用(1)										
第3回	作画技術、知識の応用(2)										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース

美術3 背景仕上撮影

第4回	デジタルツールの話
第5回	作画技術、知識の応用(3)
第6回	作画技術、知識の応用(4)
第7回	ポートフォリオについて
第8回	手の動き
第9回	動物の動き
第10回	エフェクトの動き
第11回	カメラワークの復習(1)
第12回	カメラワークの復習(2)
第13回	スケジュール管理の話
第14回	その他
第15回	後期に向けて

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース											
美術3作画（田中）											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	田中伸昭			実務 経験	有	職種	アニメーター				
授業概要											
アニメ演出的な表現力や身体の動作による外形変化などを学び、作品制作における描画力を高めます。											
到達目標											
アニメーション制作業界に直結するデッサン力を身に付けます。											
授業方法											
アニメ的なアプローチから、プリントや課題実習通して画力の向上を行います。											
成績評価方法											
授業への積極的かつ自発的参加を重視する。作品提出率（全体の70%以下は不合格判定）および時限出席率75%以下は課題を提出していても不合格となります。											
履修上の注意											
作画は量なので、とにかく多く描けるように努力すること。											
教科書教材											
必要に応じて説明プリント（参考資料）を各課題時に配布します。											
回数	授業計画										
第1回	アニメ的人物デッサン①陰影のつけ方										
第2回	アニメ的人物デッサン②顔と表情										
第3回	アニメ的人物デッサン③プロポーションとデフォルメ										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース

美術3作画（田中）

第4回	速写クロッキーとアニメ的スケッチ
第5回	アニメ的自然描写①
第6回	アニメ的自然描写②
第7回	アニメ的メカの描き方①
第8回	アニメ的メカの描き方②
第9回	アニメ的アクションの描き方①
第10回	アニメ的アクションの描き方②
第11回	アニメ的食べ物の描き方
第12回	作品制作①
第13回	作品制作②
第14回	作品制作③
第15回	まとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース											
美術3											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	山内唯志田中良太			実務 経験	有	職種	デッサン指導員				
授業概要											
鉛筆デッサンの応用力を高めるために、陰影の法則、基本的な形態のデッサンから展開する。後半は応用的課題で身につけた基礎を確認する。基本的に2週で1課題というペースで授業を進める。											
到達目標											
紙という二次元に、鉛筆によって三次元空間を表現するための様々な技術を身につけ、今まで学んできた技術をさらに向上させることがねらいである。プロの目に留まるようなポートフォリオに入れられる作品レベルを制作できることが目標である。											
授業方法											
鉛筆その他描画面材で、設置されたモチーフ、風景、人物などを画用紙に描写する。応用編として、モチーフのない想定課題も実施する。											
成績評価方法											
作品提出率（全体の70%以下は不合格判定）および時限出席率75%以下は課題を提出していても不合格となります。											
履修上の注意											
忘れ物をしない事。課題提出締め切り日は守る事。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。作画は量なので、とにかく多く描けるように努力すること。											
教科書教材											
入学時に購入したデッサン参考書など。個人で参照する資料として活用してください。											
回数	授業計画										
第1回	手を描く										
第2回	手を描く										
第3回	風景デッサン										

美術3

第4回	風景デッサン
第5回	コスチュームデッサン
第6回	コスチュームデッサン
第7回	自画像デッサン
第8回	自画像デッサン
第9回	静物デッサン①
第10回	静物デッサン①
第11回	静物デッサン②
第12回	静物デッサン②
第13回	静物デッサン②
第14回	想定デッサン
第15回	想定デッサン

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース											
美術3											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	加藤正			実務 経験	有	職種	画家				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。困た美術解剖学も学びます。											
到達目標											
自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものの見方、観察眼を養う。人体のプロポーションを理解する。											
授業方法											
講義内容を元にした課題制作を主とする。											
成績評価方法											
定期課題、試験の提出率、点数で評価。遅刻、欠席、早退は減点とする。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
参考書・参考資料等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	自画像を描く自分らしく見えるように描く										
第2回	擬人化漫画4コマ(1)(ネタ出し1)アイデアを練り、講師と相談しながら思考を整理する。										
第3回	校内写生構図に注意し、遠近感と対象物の質感を出すことに考慮する										

美術3

第4回	擬人化漫画4コマ(1)(ネタ出し2)講師の指示に従って修正点があれば修正。アイデアを追加するなどの対応力をつける。
第5回	質感想定デッサン[立方体と球](1)光が物に当たってできる陰影の明度の違いを理解する
第6回	擬人化漫画4コマ(1)(作画1)作業効率を考えながら下書きをする。
第7回	質感想定デッサン[立方体と球](2)さまざまな質感を描写できるようにする
第8回	擬人化漫画4コマ(1)(作画2)作業効率を考えながら下書きをする。下書きを終わらせる。
第9回	石膏像デッサン(1)形態の把握と構図について理解する
第10回	擬人化漫画4コマ(1)(ペン入れ1)作業効率を考えながらペン入れをする。
第11回	石膏像デッサン(2)質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上げる
第12回	擬人化漫画4コマ(1)(ペン入れ2)デジタルによる仕上げ等。課題を提出。締め切りを守る。
第13回	人物を写真を見て描く(1)リアルな描写をめざす
第14回	擬人化漫画4コマ(1)(仕上げ)デジタルによる仕上げ等。課題を提出。締め切りを守る。
第15回	人物を写真を見て描く(2)リアルな描写をめざす